

# Global Energy Policy Research

GEPR (グローバルエネルギー・ポリシーリサーチ) は、日本と世界のエネルギー政策を深く公平に研究し、社会に提言するウェブ上の「仮想シンクタンク」です。この機関は、アゴラ研究所 (<http://agorajp.com/>、東京) が運営し、エネルギー問題についての研究と調査、インターネットでの情報提供、シンポジウムの開催、提言の作成、書籍の出版を行います。

## 今週のアップデート = 英国 EU 離脱の影響 (2016年7月12日)

GEPR編集部 · Tuesday, July 12th, 2016

アゴラ研究所の運営するエネルギーのバーチャルシンクタンクGEPRはサイトを更新しました。

### 今週のアップデート

#### 1) 英国のEU離脱、エネルギー・気候変動対策にどのような影響を与えるのか

英国のEU離脱について、さまざまな問題が浮上しています。元経産官僚、前ジェットロ (日本貿易振興機構) ロンドン事務所長の東大教授の有馬純さんの寄稿です。先行きは不透明な面は多いものの、現地を見た専門家の貴重な情報です。

#### 2) 原子力規制委、訴訟対応で解説書

原子力規制委員会が訴訟対応で、解説書をつくりました。頻発する反原発派の訴訟に応じ、裁判所への説明を容易にするためのもののようなようです。しかし、こうしたことをする前に、法的にあいまいな数々の行政措置を是正するべきでしょう。アゴラ・GEPRの編集者である石井孝明の解説です。

#### 3) 大気汚染での年650万人の死、半減可能-IEA

IEA (国際エネルギー機関) のレポートの要旨部分の抜粋を訳出しました。年650万人の死はエネルギー効率化の適切な政策で半減可能というものです。

### 今週のリンク

#### 1) 英国のEU離脱が変える原子力政策

国際環境経済研究所 (IEEI) の山本隆三所長、常葉大学教授の論考。原子力の建設で、厳しすぎるEUの基準から外れる可能性、ビジネスの不透明性の両面の問題が出ているという指摘です。

#### 2) 実用発電用原子炉に係る新規制基準の考え方について

原子力規制委員会。6月29日公表。新規制基準の考え方を整理し、一般の人に解説したも

の。ただし訴訟対策と、同規制委は認めています。

### 3) エネルギーと大気汚染

IEA (国際エネルギー機関) 6月27日公表。大気汚染とエネルギー開発をめぐる特別レポート。大気汚染の死亡は年650万人いて、対策がなければ増え続けるという。近日要旨をG EPRに掲載します。

### 4) 大気汚染による死亡、エネ政策変更なければ増加続く = IEA

ロイター通信6月27日記事。上記IEAのレポートの要約。エネルギー政策では小額の投資で、状況は変えられるとレポートは訴えています。

### 5) 鹿児島知事に三反園氏 「原発いったん停止し再検査を」

朝日新聞7月10日記事。鹿児島県知事に、元テレビ朝日記者の三反園訓氏が当選しました。三反園氏は、川内原発の稼働に懐疑的な立場で、再検査を訴えて当選しました。今後の動向が注目されます。

This entry was posted on Tuesday, July 12th, 2016 at 9:03 pm and is filed under [コラム](#). You can follow any responses to this entry through the [Comments \(RSS\)](#) feed. Both comments and pings are currently closed.